

グリーン四国

四国森林管理局



四国山の日

高知市丸ノ内1丁目3-30

TEL 088-821-2052

FAX 088-821-4834

ホームページアドレス <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>

電子メール shikoku_soumu@rinya.maff.go.jp

No.1135 2014年10月号

「技術者育成研修四国ブロック」開催

市町村等への技術的支援を的確に実施する森林総合監理士を育成するため、「技術者育成研修」及び「実践研修」を行うこととして
【詳細は2頁】



技術者育成研修四国ブロックの参加者【下段中央：浅川局長】



林野庁では、平成二五年度に従来の林業普及指導員の資格試験を見直し、平成二六年度から都道府県職員

以外の者であっても森林・林業に係る技術支援等が円滑に行うことができるよう、「森林総合監理士」として登録・公開する制度を創設しました。

そのに合わせて平成二三年度から三年間実施してきた「准フォレストスター研修」に代わり、平成二六年度より「技術者育成研修（中央研修及びブロック研修）」及び「実践研修」が実施されることとなりました。



森づくり構想実習

この研修では、森林・林四国ブロック」及び「実践研修」を実施する

また、実践研修では、森



開講式挨拶
井上業務管理官（次長）

この研修では、森林・林

四国ブロック」を実施する

また、実践研修では、森

象に、高知市内のホテルに

以上の者であっても森林・林業に係る技術支援等が円滑に行うことができるよう、「森林総合監理士」として登録・公開する制度を創設しました。

そのに合わせて平成二三年度から三年間実施してきた「准フォレストスター研修」に代わり、平成二六年度より「技術者育成研修（中央研修及びブロック研修）」及び「実践研修」が実施されることとなりました。

この研修では、森林・林四国ブロック」及び「実践研修」を実施する

また、実践研修では、森



森づくり構想実習：班別発表

て、現地を確認し検討を行う「資源循環利用構想演習」を行い、午後からは高知市の研修会場へ戻り、「一〇年間の森林経営ビジョンの策定」と翌日の

発表資料の作成を行いました。四日目となる研修最終日は、班毎に首長に対するプレゼンを想定した発表を行いました。活発な意見交換が行われました。

士としてのやりがいや困難さをお互いに理解し、森林総合監理士としてのやりがいや困難さをあわせて認識したようでした。なお、一〇月二七日〜二八日には「新たな架線系作業システムへの取組と最新の木材利用・流通」をテーマとした実践研修を行いました。

10年間の森林経営ビジョンの策定（発表）



において実施しました。研修の開講式では、井上業務管理官から激励の挨拶があり、早速、酒井外部講師による「森づくりの構想（目標林型と施業方法の選択）」の講義から始まりま

で「森づくり構想実習」として、目測による森林現況を数値で算出し目標林型等の検討や発表を行いました。三日目は、同じく中土佐町内にある新道山国有林外で、午前中は一〇〇〇ヘクタールの森林における一〇年間の事業計画について、



資源循環利用構想実習

エールの挨拶を頂き、最後に集合写真撮影し無事に研修が終了しました。四日間の研修カリキュラムでは実習・演習の時間に限りがあったものの、受講生は各課題に真剣に取り組み、森林総合監理

マとした実践研修を行いました。実践研修では、実際の事業現場において、事業を展開している外部講師からの講義を予定しており、受講生のレベルアップにつながるよう、関係者一同取り組む考えです。

『秋期緑の街頭募金』開催

〈技術普及課〉



一〇月一日に、恒例となりました「秋期緑の街頭募金」が、「緑の募金でふせごう地球温暖化」のスローガンのもと、公益社団法人高知県森と緑の会主催により、高知市中央公園及び帯屋町筋で行われ、浅川局長を初め多くの街頭募金協力者が参加しました。

当日は大型台風が接近中

でしたが、雨の心配はなく、アーケードの人通りは普段と変わらず、子どもから年配の方まで、多くの方々から募金への呼び掛けに応えていただき、たくさん善意が寄せられました。

この、「緑の募金」は一〇月三十一日まで行われて

特に今回は、子ども会連合会から、例年以上に多くの小学生が参加し、大きな声で募金を呼び掛け、森林の大切さや、この募金が森

水の森づくりや緑の少年団の育成、国際緑化事業などに活用されることになっています。

林づくりに活かされていることなどを訴えました。



出発式での挨拶【浅川局長】



街頭募金の様子



街頭募金参加者